



授業の充実に向けて



R 2 ・ 9 ・ 11

9月に入り早2週間以上の月日が過ぎようとしています。何だか、もっともっと過ごしてきたように感じるのは、毎日が充実しているから？でしょうか。先週は、運動会に向けて取り組む子供たちの姿を、お知らせしましたが、今日は、授業に向けて精出す学校の様子を紹介します。

義務教育における目的は、子供たちが「自立」（自分の力で生きていく）できるように力を培うことだと考えます。学校ではこの「自立」に向け、様々な教科を学んだり、集団生活で大切なことを身に付けたりして確かな力を育てていきます。

そのため、私たち職員が大事にしていることは授業です。学校生活のほとんどが、この授業で占められていますから、ここでの充実こそが、子供たちに力を付けることにつながると信じます。コロナ禍への対応に十分注意しながらも、私たち職員は、学校の使命である授業の充実に向け、子供たちの前に立ちたいと思います。

授業を充実させるため、「授業研究」と称して職員皆が指導方法について案を作り、他の職員に参観してもらいます。その後、より指導が向上するように話し合いの場を持ちます。

より良い作品作りのため、互いにイメージを紹介し合うことで自身の思いを確かにしていきます。（図工の授業より）

まとめた考えを発言したり、聞いて考え合ったりすることを大切にします。主体的・対話的で深い学びを目指します。（算数の授業より）



・・・校長より・・・